

戸塚環境センターの施設整備について

(1) 事業の背景

- ・東棟焼却炉（1・2号炉）は竣工から約32年経過後の平成20年3月に廃止（昭和51年3月竣工）
 - ・西棟焼却炉のうち、4号炉は竣工から約36年が経過（平成2年1月竣工）、3号炉は竣工から約32年が経過（平成6年3月に竣工）しており、平成22年度から24年度に15年程度の延命化を目的に大規模改修を実施
 - ・粗大ごみ処理施設は竣工から約51年が経過（昭和50年2月竣工）
 - ・朝日環境センターは竣工から約23年が経過（平成14年11月竣工）
- 以上により施設の老朽化が進んだことから戸塚環境センターの施設整備が急務であった。

(2) 事業の概要

戸塚環境センターのうち焼却処理施設（東棟）、粗大ごみ処理施設及び厚生会館（温浴施設）等の建替工事を行うとともに、新たに自然学習広場を設置するもの。

整備にあたっては、法令及び環境アセスメントを遵守し環境に配慮した施工を心掛けるとともに、安全かつ安定したごみ処理体制を維持するため、災害時にも強いごみ処理施設を整備し、市民生活の安全安心につなげるもの。

(3) 工事名称

戸塚環境センター施設整備工事

(4) 期間

令和3年9月29日から令和12年3月31日まで

(5) 受注者

日鉄エンジニアリング・極東開発・三井住友・川口土建特定建設工事共同企業体

(6) 監理者

株式会社東和テクノロジー

(7) 契約金額（本体工事のみ）

489 億 6,377 万 2,000 円

令和 3 年 9 月 29 日 当初契約締結（476 億 3,000 万円）

令和 7 年 6 月 25 日 竣工した特別高圧変電所等の物価変動による契約変更
（2 億 4,081 万 2,000 円増額）

令和 7 年 12 月 23 日 想定外のアスベスト除去工事の追加による契約変更
（1 億 8,139 万円増額）

令和 8 年 6 月 30 日 竣工した粗大ごみ処理施設等の物価変動による契約変更
（9 億 1,157 万円増額）

1 施設の概要

(1) 焼却処理施設（東棟）

【建物】

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造

建物高さ：約 31m（地上 5 階・地下 1 階）

延床面積：約 14,000 m²

建築面積：約 5,900 m²

煙 突：高さ 59m（建屋一体型外筒・鋼製内筒型）

【プラント】

処理能力：285 t／日（142.5 t／24h × 2 炉）

形 式：全連続燃焼式ストーカ焼却炉

余熱利用：発電約 7,900 kW、温浴施設等への温水供給

(2) 粗大ごみ処理施設 ※令和 8 年 7 月 31 日竣工

【建物】

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造

建物高さ：22.39m（地上 2 階）

延床面積：3,439.99 m²

建築面積：2,349.39 m²

【プラント】

処理能力：26 t／5h

形 式：高速回転破砕機、大型木質ごみ粗破砕機

(3) 環境啓発棟

【建物】

構 造：鉄骨造

建物高さ：17.9m（地上 3 階）

延床面積：3,484.51 m²

建築面積：1,362.75 m²

設 備：温浴施設、研修室、環境啓発展示、多目的室等



(4) 自然学習広場

- ・環境啓発棟周辺及び施設内の綾瀬川遊歩道沿いに設置
- ・綾瀬川沿いの環境に調和した植栽豊かでエコロジカルネットワークを考慮した空間を配置し、多様な生き物が生息しやすい環境を整備



2 施設の配置計画

(1) 既存施設の配置と解体対象(着工時点)



(2) 竣工時における各施設の配置計画

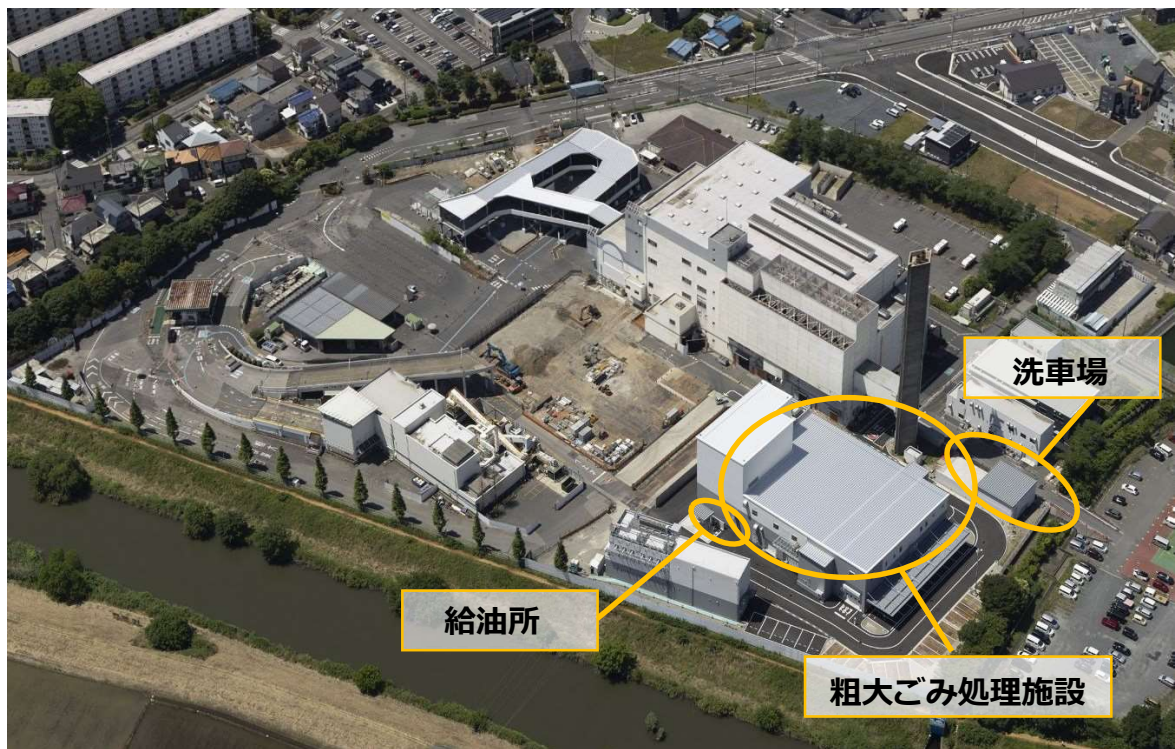


3 航空写真比較

(1) 令和4年3月の航空写真



(2) 令和8年6月の航空写真



※粗大ごみ処理施設、洗車場及び給油所が8月から稼働、焼却処理施設（東棟）の解体が完了